



Contents

特集1 「第21回ACジャパン広告学生賞」受賞 … 2~3

特集2 オープンキャンパス・学校説明会 … 4~5

- 創立125周年記念事業／アーカイブ室コラム … 6
- 学園各部報告 … 7~9
- 同窓会だより／日本学国際研究所 … 10



見つめる人になる。見つける人になる。



相模女子大学

「第21回ACジャパン広告学生賞」受賞



生活デザイン学科 《新聞広告部門》

「AC ジャパン広告学生賞」は、若い世代が広告制作を通して公共広告への理解を深め、「公」への意識を育むことを目的に2005年に設立され、学生ならではの視点や発想が選考のポイントとなっているものです。

第21回を迎えた「AC ジャパン広告学生賞」は今年も全国の美術大学や一般大学からの作品が集まり、応募数は過去最高となりました。「新聞広告部門」では参加校35校から734作品の応募がありその中から一次・二次・最終選考と審議が繰り広げられ、厳正な選考の結果、生活デザイン学科3年生の三星茂奈さんの作品『ランドセルよりも重いものを背負っている子供がいる』が優秀賞を受賞しました。

受賞者コメント

『ランドセルよりも重いものを背負っている子供がいる』というタイトルに込めたのは、子供たちが見えない重荷を日々抱えながらも懸命に生きる姿への敬意です。優しさや脆さをストレートに伝えるため、あえて線だけで描き切り、余白を活かすことで、その重みがより際立つよう表現しました。

また、ポップに配置した野菜は、子供の頭の中に広がる「現実と無垢な想像の世界」を象徴しています。一見明るく楽しげに見える一方で、実際にはケアの責任感や不安といった複雑な感情が混在していることを示しています。制作では、線と余白のバランスに何度も試行錯誤を重ね、「見た

優秀賞

三星茂奈さん

三星さんの作品は「ヤングケアラー」をテーマにした作品です。「ヤングケアラー」とは、家族の介護やケア、身の回りの世話を担う18歳未満の子供のことです。その生活が「当たり前」で、自身が「ヤングケアラー」という認識がない子どもも少なくありません。実態を調べていくと進学や就職の際に家族か人生かの選択にまで及んでいるということもあります。その様な実態をまずは知つてほしいという思いで作成されました。





【表彰】メディア情報学科の学生が「第21回 ACジャパン広告学生賞」において、奨励賞を受賞しました

今年は、45校の大学から、330点の作品が集まりました。その中から、メディア情報学科3年生の松原想奈さんがチケットの不正転売をテーマにしたCM「プラス1円で変わる人生」がテレビCM部門で奨励賞を受賞しました。

ACジャパン広告学生賞とは

若い世代が広告制作を通して公共広告への理解を深め、「公」への意識を育むことを目的に2005年に設立されました。

CM学生賞の名称で「テレビCM部門」からスタートし、第13回の開催から「新聞広告部門」を新設したのを機に広告学生賞へと名称変更しました。

グラフィック部門の新設により表現の幅も広がり、より多くの学校に参加いただけるようになりました。

学生ならではの自由な視点や発想を選考のポイントとし、グランプリ・準グランプリ受賞作品は、BS民放11局と全国5紙に放送・掲載されるということが、この学生賞の最大の特徴でありメリットといえます。

今後も、枠にとらわれず若い世代の視点から放たれる斬新な企画を期待しています。

公益社団法人 ACジャパン "ACジャパン広告学生賞とは" 第20回ACジャパン広告学生賞
<https://www.ad-c.or.jp/campaign/cm/about/index.html> (参照 2024-07-03)

受賞者コメント

皆さんはチケット不正転売禁止法という法律があることを知っていますか？ 娯楽として身近に存在するライブなどのイベントのチケットを定価以上の値段で取引する行為が流行し、エンターテインメント業界では問題になっています。この問題に対し、チケットを売り買ひすることが犯罪なのではなく、1円でも高くチケットをサイトやSNSで売る行為が犯罪であり、それを買うことも犯罪です。このCMを観て、身近に潜む犯罪に気を付けて推し活を楽しんでもらえると幸いです。

1枚でも多くのチケットが不正転売されない未来になることを願っています。

去年に続いて入賞を果たしてとても嬉しいです。本作品はメディア情報学科の専門科目である「広告制作演習」で学びを活用しながら制作したもので、学生が主体となり、企画からアニメ制作や動画の撮影、編集まで、制作工程で次々と出てくる課題を解決しながら完成しました。CMは、最近問題になっているチケットの不正転売問題について日本の昔ばなしのおむすびころりんをモチーフにアニメーションで制作しています。チケットを穴に落とした穴から「1円多く払うからもう1枚チケットをくれないかい？」と誘いの言葉が返ってきます。チケットを穴に落としてみたら自分も穴に落ちてしまい、結局チケット不正転売禁止法で警察に逮捕されます。重くなりがちなテーマをシンプルなイラストで表現し、テンポ良く進め

奨励賞

松原想奈さん

て最後のキヤッチコピー「適正価格で本当に行きたい人へ」でうまくまとめたことが、高く評価されたと思います。おめでとうございます。

(指導担当 金相賢准教授)



●オープンキャンパス・学校説明会

大学ではオープンキャンパスや入試説明会、併設各部では学校説明会や体験授業など、今後開催予定の学園イベント情報を一挙ご紹介！事前予約制のイベントもありますので、詳細は各部ホームページでご確認の上、お早めにお申し込みください！

大学院 大学 ※HPにて事前登録

●オープンキャンパス ※

- ・8月2日（土）11時～16時・8月23日（土）11時～16時・9月21日（日）13時～16時30分・12月13日（土）14時30分～17時
学科説明 / 学科企画 / 体験授業 / 入試制度説明 / 各種個別相談 / キャンパスツアーなど・2026年3月22日（日）13時～16時

●ナイト見学会 ※

- ・10月15日（水）、10月17日（金）18時00分～19時30分

●公開行事【相生祭】

- ・11月2日（日）、11月3日（月・祝）

●相生祭同時開催個別相談会 ※

- ・11月2日（日）、11月3日（月・祝）10時～15時

*日程・実施方法・事前予約の有無等が変更になる場合があります。事前にHPで最新情報をご確認ください。

●WEBオープンキャンパス

自宅にいながら大学の学びの内容を理解できる

WEBオープンキャンパスを開催しています。



↑
WEBオープン
キャンパス
詳しくはこち
ら

●個人での学校見学

お友達や保護者の方とゆっくりキャンパス見学ができます。

[受付時間]

平日 9時～17時

土曜日 9時～12時30分（土曜日窓口開室スケジュールは本学HPよりご確認ください。）

日曜日・祝日は休業（ただし正門警備員室にてパンフレットを受け取ることができます。）

[お問合せ] 相模女子大学・相模女子大学短期大学部大学事務部 入試課

●詳細はHPをご覧ください。 www.sagami-wu.ac.jp

フリーダイヤル：0120-816-332 携帯から：042-749-5533

（平日9時～17時、土曜日9時～12時30分） Mail：kouhou@isc.sagami-wu.ac.jp

高等部

※HPにて要予約

●個別相談 ※

個別学校案内 7月26日（土）～8月23日（土）※日曜／祝日、特定日を除く

※申込期間は6月26日（木）～相談日の前日まで



●学校説明会 ※

・第1回学校説明会 9月6日（土）

・第2回学校説明会 10月25日（土）

・第3回学校説明会 11月15日（土）

・第4回学校説明会 11月29日（土）

※申込期間は各回1か月前より先着順

WEB
オープンスクール
詳しくはこち
ら→



高等部
学校説明会
公開行事
詳しくはこち
ら→



[お問合せ]

相模女子大学高等部

TEL：042-742-1442（平日9時～17時、土曜日9時～12時30分）

Mail：kou@mail2.sagami-wu.ac.jp

※予定は変更になる場合があります。事前に各部HPにて最新情報をご確認ください。



中 学 部

※HPにて要予約

● プチセツ ※

- ・5月15日(木) 10時～11時
- ・6月5日(木) 10時～11時
- ・9月11日(木) 10時～11時
- ・12月11日(木) 10時～11時
- ・1月15日(木) 10時～11時

●学校説明会 ※

- ・6月28日(土) 9時30分～11時30分
- ・10月11日(土) 9時30分～11時30分

●過去問解説会【小学6年生対象】※

- ・11月29日(土) 9時30分～12時10分

[お問合せ]
相模女子大学中学部
TEL: 042-742-1442
(平日9時～17時、土曜日9時～12時30分)
Mail: chu@mail2.sagami-wu.ac.jp

●プログラミング体験会【小学4, 5, 6年生対象】※

- ・5月10日(土) 9時30分～11時
- ・6月7日(土) 9時30分～11時
- ・7月12日(土) 9時30分～11時
- ・9月6日(土) 9時30分～11時
- ・10月4日(土) 9時30分～11時

●プログラミング入試体験会【小学6年生対象】※

- ・11月15日(土) 9時30分～11時
- ・12月13日(土) 9時30分～11時
- ・1月10日(土) 9時30分～11時

●適性検査型入試体験&説明会【小学6年生対象】※

- ・9月20日(土) 14時～16時
- ・11月22日(土) 14時～16時

●ナイト説明会【予約不要】

- ・10月22日(水) 19時～20時
- ・12月12日(金) 19時～20時
- ・1月14日(水) 19時～20時



中学部学校説明会
公開行事詳しく述べこちら

小 学 部

※HPにて要予約

●ナイト説明会 ※

ユニコムプラザさがみはらセミナールーム2 (bono 相模大野サウスマール3階)
・7月25日(金) 19時～20時

●学校説明会 ※

- ・第3回学校説明会 9月12日(金) 9時20分～12時
- ・第4回学校説明会 9月21日(日) 10時10分～11時40分

●学校説明会【次年度以降受験希望者向け】※

- ・12月3日(水) 9時～12時

[お問合せ] 相模女子大学小学部

●詳細はHPをご覧ください。 www.sagami-wu.ac.jp/sho/
TEL: 042-742-1444 (平日9時～17時)
Mail: sho@mail2.sagami-wu.ac.jp

●「勉強って楽しい」と感じる授業体験ミニオープンスクール ※

- ・2月28日(土) 【年中・年少対象】
9時より

●学校行事【相生祭】※

- ・11月2日(日)、3日(月・祝)
全校児童の図工作品を展示します。園児が参加できる
ワークショップも開催予定です。

●学校行事【造形展】※

- ・2月14日(土) 9時～14時30分
園児が参加できるワークショップも開催予定です。

*イベント予約・詳細は、
HP「イベント情報」にて
ご確認ください。

*最新情報をメールで
受信することも可能です。



最新情報
メール配信サービス→



幼 稚 部

●認定こども園相模女子大学幼稚部入園説明会

- ・第2回 9月4日(木) 10時～11時
- ・第3回 10月28日(火) 10時～11時

●入園希望者対象入園前個別相談会

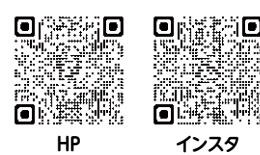
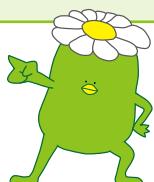
- ・8月27日(水)、28日(木)、29日(金)
- ※10時～16時の間で
1人30分程度を予定しております。

●もも組入会説明会(2歳児対象)

- ・9月4日(木) 9時30分～

●こんにちは会

- ・9月17日(水) 10月8日(水)
- ・11月12日(水) 12月10日(水)
- ・1月14日(水) 2月25日(水)
- ・3月4日(水)



HP

インスタ

[お問合せ] 認定こども園相模女子大学幼稚部

●詳細はHPをご覧ください。 www.sagami-wu.ac.jp TEL: 042-742-1445 FAX: 042-742-1431

創立 125 周年記念事業／アーカイブ室コラム

相模女子大学の正門

1946（昭和 21）年、相模女子大学の前身である帝国女子専門学校が都心から相模原の地に移転してきました。移転当時の正門は、日本陸軍の教育機関のひとつ「陸軍通信学校」（昭和 13 年、現在の東京都杉並区から移転）時代から使用されていたもので、現在でも学園の歴史的シンボルとして大切に使われています。時代毎の正門の様子を写真で振り返ってみましょう。

①は、1950（昭和 25）年頃に撮影されたもので、正門には帝国女子専門学校、相模女子大学、相模女子大学高等学校（後の高等部）、相模女子大学中学校（後の中学部）、相模女子大学幼稚園（後の幼稚部）の学校名の看板が掲げられています。

②は、1950 年代半ばから 1960（昭和 30）年代半ばに撮影されたもので、相模女子大学の表示があるバスが写っています。正門前の歩道も構内の銀杏並木も未だ舗装されてなく砂利道です。幼稚部 50 周年記念誌には、「昭和 28 年、園児の送迎用として神奈川中央交通より中古のバスを購入した。」との記録がありますので、恐らくそのバスの写真かと思われます。

③は、1980（昭和 55）年の相生祭に撮影されたもので正門そのものをアーチにして、校章を上部にデザインするなど、創立 80 周年仕様の正門になっています。

④は、2000（平成 12）年頃に撮影されたもので、創立 100 周年記念の看板と当時のロゴマークが写っており、現在とほぼ変わらない正門付近の景色が残されています。

時代の移り変わりとともに学校は変遷していきますが、これらの写真から、学園のシンボルである正門の風景に大きな変化がないことがわかります。



①1950(昭和 25)年頃の正門



②1950 年代半ばから 1960 年半ば(昭和 30 年代)の正門



③1980(昭和 55)年 創立 80 周年仕様の正門



④2000(平成 12)年頃の正門



現在の正門

参考『相模女子大学八十年史』『校舎は焼けても学校は焼けない』
『相模女子大学幼稚部 50 周年記念誌』

学園各部報告

学園

風間誠史理事長らが帝国女子専門学校跡地にある碑を訪れ戦災犠牲者を慰靈しました



本学の前身「帝国女子専門学校」跡地に立つ「大塚の碑」



哀悼の意を表する
風間理事長



同窓生とともに当時の様子
を振り返る風間理事長

4月17日(木)
曜日)、風間誠史
理事長をはじめ、
田中百子同窓会
長、同窓生らが
本学の前身である
「帝国女子専
門学校」の跡地
(東京都文京区大
塚)に立てられた
「大塚発祥の地」
の碑を訪れ、
戦災犠牲者を慰
靈しました。

1945年4月13日夜半から14日未明にかけての大空襲により、帝国女子専門学校の校舎と学寮は全焼し、学生3名・寮母1名が犠牲となりました。当時の田中義能校長は「校舎は焼けても、学校は焼けない。学校には永遠の命がある。」と教職員や学生を励まし、間もなく拓殖大学の一部を借りて授業を再開しました。その後、現在の相模原市の旧陸軍通信学校跡地に移転し、相模女子大学として発展しました。

戦災から80年が経った地を訪れ、犠牲になられた方々に哀悼の意を捧げました。

大学院・大学・短期大学部

(総務課)

IT業界研究&学内合同企業説明会を開催

大学4年生を対象としたIT業界研究&学内合同企業説明会を5月16日(金)に夢をかなえるセンターのガーデンホールで開催しました。

この説明会は2部構成となっており、第1部ではIT業界全体について、詳しい解説を行いました。その後、第2部ではIT業界の特徴を理解した上で、企業の話を聞くことができる合同企業説明会を開催しました。

IT業界は学生に人気のある業界ですが、Web系や自社開発・客先常駐など、企業によつて特徴が様々です。しっかりと業界を理解することで、就職支援課では、対面入社後のミスマッチを防ぐことができます。



合同企業説明会の様子



IT業界研究の様子

2025年3月7日(金)に挙行した卒業式にて「二エンジン観察バラエティモニタリング」の撮影が行われました。卒業生はもちろん、先生方にも内密に企画され、本学構内や相模女子大学グリーンホールでスペシャルゲストによるサプライズ演技が披露され、大いに盛り上りました。この様子は、2025年4月10日(木)19時からTBSテレビにて放映されました。

(学事企画課)



盛り上がっている卒業生



式典の様子

で企業の方々と直接交流できる場を設け、業界や企業への知識を深め、充実した就職活動ができるようサポートしています。

(就職支援課)

TBSテレビ「二エンジン観察バラエティモニタリング」に相模女子大学が出演しました

中学部・高等部

[モダンダンス部] 県大会初優勝！

6月14日（土）、第63回神奈川県高等学校総合体育大会ダンス競技に相模女子大学高等部モダンダンス部が登場しました。1月の新人大会では7位と悔しい思いをしましたが、リベンジに燃え練習を重ねてきました。4月には新入部員11名を迎え、創部以来初の優勝を果たすことができました。日頃、活動を支えていただいている皆様に感謝申し上げます。

今回の作品は、「西部戦線異状なし」という、第一次世界大戦の西部戦線を一兵士の視点から描いた戦争文学をもとにした作品です。この作品で、8月5日（火）大学ダンスフェスティバル（神戸）に登場します。県大会以上の演技にし、入賞を目指します。

応援のほど、よろしくお願いします。



次は8月5日神戸の全国大会！



どこか見覚えのある魔法学校

とても楽しかった体育祭

今年の体育祭は応援団や仮装行列がありとても賑やかで楽しい体育祭になりました。その中でも今回私が楽しかったことは大縄飛びです。1クラス2チームに別れて一つの長い縄を回しチームのみんなで息を合わせながら跳ぶ中学部種目です。中学部体育祭委員会では、みんなが楽しめるように、練習から声を合わせて大縄を練習しました。また、本番でも1～3年生が心を一つにし練習の成果を發揮できるこの競技にして良かったなと感じました。

今年の体育祭はとても楽しかったので、来年も中高ともに楽しいと思える体育祭にしたいです。（中学部体育祭運営委員会 委員長 鈴木 幸）

チアリーディング部 5月25日（日）

今年の体育祭は応援団や仮装行列がありとても賑やかで楽しい体育祭になりました。その中でも今回私が楽しかったことは大縄飛びです。1クラス2チームに別れて一つの長い縄を回しチームのみんなで息を合わせながら跳ぶ中学部種目です。中学部体育祭委員会では、みんなが楽しめるように、練習から声を合わせて大縄を練習しました。また、本番でも1～3年生が心を一つにし練習の成果を發揮できるこの競技にして良かったなと感じました。



戦術と戦略の駆け引き「竹引き」

（高等部体育祭運営委員会 委員長 中島唯智）

体育祭を終えて

運営委員会の活動を振り返ると、まず初めに生徒の意見を反映するために、アンケートを実施しました。その結果をもとに、どのように体育祭をより良くできるのかを模索しながら会議を重ね、昨年度よりも生徒の意見を取り入れた体育祭を目指して取り組んできました。自ら委員長に立候補したものの、当初は全体をまとめるために苦戦し、本当に私が委員長で良かったのかと感じることもありました。しかし、会議を重ねるごとに進行にも慣れ、効率的に意見をまとめることができるようになってきました。

体育祭当日、運営委員長としての言葉を終えた瞬間、全身の力が抜け、これまでに感じたことのない達成感と解放感に包まれました。それほどまでに、この体育祭に力を注ぎ、悩みながらも全力で取り組んだ日々だったのだと思います。不甲斐ない委員長で、運営委員の皆には苦労をかけてしまつたかもしれません、最後まで一緒に活動してくれて本当にありがとうございました。

今思うことは「委員長をして良かった」ということです。大変なことも多かつたですが、私自身の成長につながる貴重な経験となりました。運営委員の皆さんにとっても、この経験が成長や自信につながつていると嬉しいです。今年度の体育祭が、皆さんのが高校生活の中で素敵な思い出として残つていると嬉しいです。

そして、来年度の体育祭が更に良いものになることを願っています。

初出場の1年生からのコメント

「はじめてのトップポジションだったので不安と緊張がありました。先輩方が「絶対大丈夫！」

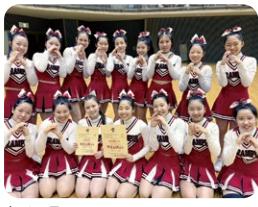
できるよ！」「笑顔で楽しもー！」と前向きな言葉をかけてくれたので不安も消え、全力で2分30秒を楽しむことができました。大きなミスもなく2位で追われたことは嬉しいのですが、完璧で納得のいく演技はできなかつたので、関東大会までの練習は、正確さとクリーンなスタンスを目指して全力でがんばります。」1年生Yさん

「本番前後で先輩がたくさん声かけをしてくれたので、あまり緊張せずに演技することができました。演技が終わってみると、焦らなければ良かったと感じる部分が多くあり、完璧な演技ができなかつたことが悔しさとして残りました。関東大会に向けて普段の練習から自分の意見を伝えることや隙間時間にできるることを考えて練習に取り組むことを大切にしたいです。」1年生Iさん

吹奏楽部

6月15日（日）に相模女子大学グリーンホールで行われた定期演奏会は、1,500名を超えるお客様をお迎えし、盛大に開催することができました。ソリス（Tuba 渡部陽菜さん・Perc. 石川直さん）との共演やマーチングステージ、バトントワーリング部とのコラボなども、お陰様で大好評でした。会場を盛り上げてくださったご来場のみなさまに、改めて感謝申上げるとともに、開催を支えてくださった方々に厚く御礼申し上げます。これからも一層精進して参りますので、応援宜しくお願いいたします。なお、来年の定期演は5月6日（祝）に厚木市文化会館で開催することが決定しております。ぜひ、ご来場くださいますよう、お願い申し上げます。

（中高吹奏楽部 部長 高等部3年 渡辺奈楓）



次は8月28～31日のJAPAN CUP！

全力でやりきった競技と演技！

第74回 小学部運動会

5月24日（土）、第74回 小学部運動会を行いました。数日前からの天気予報では、当日は雨の予報が出でいたため、無事に実施できるかどうかを心配しましたが、蓋を開けてみれば、日中の降雨はなく、程よい曇り空で、暑くなく、絶好の運動会日和となりました。



縄引き優勝 青組



総合優勝 黄色組 歓喜の瞬間

伝統の全校演技は、鳴子使ったダンス「鳴子祭り

（高らかに響け）」を披露しました。

前半の高学年

パートは、曲『恥ずかしい

か青春は』にのせて上級生

らしくかっこいい鳴子ダン

スを、低学年から始まり全

校児童で踊る後半パート

は、曲『爽涼鼓舞』に合わ

せて、疾走感あふれるダン

スをしました。体全体の動

きや鳴子の響きだけでな

く、顔の表情や向きまで意識して完成度の高い表現運動ができました。各競技は、どの種目も全力で競い合う姿がみられ、走る種目ではゴールを切るまで順位が分からぬ展開、縄引きなどは最後までどちらに軍配があがるかわからぬ、そんな接戦ばかりでした。

今年は、「自分を支えてくれる人に、頑張る姿で感謝を伝えよう！」という気持ちで取り組みました。閉会式で、来場してくださった保護者の皆様をはじめ、多くの方々から、その気持ちが伝わった証の盛大な拍手をいただきました。

（小学部 大熊）



5、6年生有志による剣舞



全校演技 鳴子祭り～高らかに響け～

さつまいもは11月頃に収穫をして、子どもたちと一緒に「もう大きくなつたかな?」「いつ食べる?」「スイートポテトを作るのはどう?」とさつまいもの生長を待ち遠しく感じているようです。さつまいも見られました。子どもたちは毎日のように「虫のおうちだね」など感じたことを友だちや保育者に共有する姿も見られました。苗を持つ際は優しく慎重に持ち、大切に扱う様子も見られました。子どもたちは毎日のように「もう大きくなつたかな?」「いつ食べる?」「スイートポテトを作るのはどう?」とさつまいもの生長を待ち遠しく感じているようです。

さつまいもは11月頃に収穫をして、子どもたちと一緒に「もう大きくなつたかな?」「いつ食べる?」「スイートポテトを作るのはどう?」とさつまいもの生長を待ち遠しく感じているようです。

さつまいも見られました。子どもたちは毎日のように「虫のおうちだね」など感じたことを友だちや保育者に共有したり、さつまいもの生長に期待感を高め、食に興味を深めていく様子を見守っています。

（幼稚部 小松）

さつまいも組に進級し、新しい保育室や玩具に期待感を高める子どもたち。毎日「今日は何をして遊ぼうかな」と瞳を輝かせながら登園する様子が見られます。少しずつ友だちとの関わりも増えてきて、友だちと一緒に遊ぶ中で「折り紙上手だね」「鬼ごっこ速いね」などと友だちの良いところを発見して伝え合い、信赖関係を深めていくことを心地よく感じているようです。

戸外で遊ぶことが大好きな子どもたちは、自然を肌で感じて新たな発見をすることを楽しんでいます。先日、幼稚部の裏庭にある畑にさつまいもの苗を植えました。子どもたちの提案で「さつまいもが寝るベッドを柔らかくしよう」と畑を耕しました。砂場や水たまりの泥とは異なる触り心地に「この砂で泥



夢中になって畑を耕す子どもたち



看板も作りました



美味しいなれ



125 年の歴史を彩る、 校章柄でぬぐい 池田 夏実

株式会社ケイス【濱文様】WEB 広報部

(平成 24 年・短期大学部 生活デザイン学科卒業)

日々の暮らしに、もっとデザインの楽しさを取り入れたい！そんな思いから、私は生活デザイン学科へ入学。グラフィックやファッショントレーニング、プロダクト、インテリアなど、様々な領域のデザインを学べる環境は毎日が刺激的で、あっという間に時間が過ぎていきました。

授業以外にも色々な活動に飛び込むなか、インターンシップで訪れたのが現在の勤務先である【濱文様】でした。濱文様は、てぬぐいや風呂敷をはじめとしたテキスタイル雑貨を企画から販売まで手掛けている、横浜生まれのブランドです。入社後は縫製部や企画部など、いくつかの部署を経験。現在は主に EC サイトの運営を担当していますが、どの仕事においても生活デザイン学科で幅広く学んできたことが生きているなど日々実感しています。

そんな中、今回ご縁があり、学園の創立 125 周年を記念するアイテムとして、生活デザイン学科の皆さんと一緒にオリジナルのてぬぐいを制作するプロジェクトにお声がけいただきました。

濱文様のてぬぐいは、横浜の伝統的な染色技法である「捺染(なっせん)」という型染めで作られています。捺染は色ごとに版を



モチーフとなった学園の校章

伝統と個性が花咲く、
学生デザインのてぬぐい

起こし、職人によって手作業で染め上げていく繊細な技術です。今回のデザインのモチーフは、歴史ある学園の校章。多様な色で構成されている校章を本来の色に近づけつつ、いかでぬぐいのデザインとして美しく表現するか…配色や形に工夫を凝らし、試行錯誤を重ねながら制作を進めました。

このプロジェクトでは 4 名の学生がそれぞれの感性を活かしたデザインを展開。同じ校章をモチーフにしても、作り手によって表情が変わるのがデザインの面白いところだなと感じます。学生の皆さん的新鮮なアイデアや、ひたむきにデザインに向き合う姿勢には、私も学生時代を思い出し、多くの刺激を受けました。

完成したてぬぐいは、今後同窓会にて販売される予定です。ぜひ、お手に取ってご覧ください。

てぬぐいはハンカチとしてだけでなく、お部屋のインテリアとして飾ったり、スカーフ代わりに身に着けたり、贈り物を込んだりと、様々な場面でお使いいただけるアイテムです。

この特別なてぬぐいが、皆さまの暮らしに彩りを添えることが出来れば嬉しく思います。

相模女子大学日本学国際研究所主催 紀伊國屋書店新宿本店アカデミック・ラウンジシリーズ

「相模女子大学日本学国際研究所と学ぶ・知る・考える」のお知らせ

2024 年 4 月に開設した本学初の本格的な研究所「相模女子大学日本学国際研究所」では、シリーズイベント「相模女子大学日本学国際研究所と学ぶ・知る・考える」を開催しています。多岐にわたる研究領域において、幅広い研究が豊富に蓄積される本学が、これまで培った様々な研究分野における日本学に関する研究成果の一端を、ゲストも交えて紹介して参ります。ぜひ足をお運びください。

vol.7 9.28.SUN 14:00 - 15:30

江戸の戯作が見た「世界」と「日本」

相模女子大学名誉教授 風間 誠史



会場・アクセス

紀伊國屋書店新宿本店 3 階アカデミック・ラウンジ

JR「新宿」駅 東口より徒歩 3 分

地下鉄丸の内線・副都心線・都営新宿線

「新宿三丁目」駅 B7 出口より徒歩 1 分 (地下道より直結)

vol.8 11.30. SUN 14:00 - 15:30

願えば叶うは本当か

相模女子大学客員教授
JAXA 宇宙科学研究所教授

羽生 宏人



参加無料・どなたでも参加可能です

イベント詳細とお申し込み方法は、本学 HP をご確認ください。

[大学 HP] https://www.sagami-wu.ac.jp/info/20250321_20/

[問い合わせ先]

相模女子大学日本学国際研究所事務局

mail : siijs@mail2.sagami-wu.ac.jp



学校法人 相模女子大学